「省エネルギーセンター」ダウンロードファイル（無断転載、翻訳を禁ず）

対　策　分　析　シ　ー　ト

対策メニュー名	変圧器の統合（設備導入）	シート番号	A22032
システム・設備	受変電・配電設備	6 類型	設備導入
削減余地順位	全体：51 位　産業部門：37 位　業務部門：44 位		

診断結果と対策提案実施の状況（診断結果は H28～R2 年度診断分、提案実施状況は H28～H31 年度診断分）

表 1．診断結果（対策の削減余地・診断時の提案率）　▶ 削減余地の大きい 5 業種（診断件数 20 以上）

	全体	産業部門	業務部門	75 宿泊業	15 印刷・同関連業	83 医療業	85 社会保険等の事業	24 金属製品製造業
削減余地 [千 t-CO_2]	504	183	320	129	77	63	45	35
診断件数	3,303	1,216	2,087	215	82	179	484	210
診断時提案数	90	38	52	11	2	5	16	14
診断時提案率	3[%]	3[%]	2[%]	5[%]	2[%]	3[%]	3[%]	7[%]

表 2．対策提案の実施状況

	全体	産業部門	業務部門	75 宿泊業	15 印刷・同関連業	83 医療業	85 社会保険等の事業	24 金属製品製造業
事業報告書提案数	83	32	51	11	2	5	16	8
事業報告書実施数	9	5	4	1	0	2	1	1
事業報告書実施率	11[%]	16[%]	8[%]	9[%]	0[%]	40[%]	6[%]	13[%]

表 3．実施された対策の内容

	項目		最大値	中央値	最小値	平均値
提案・実施内容	CO_2 削減量	[t-CO_2/年]	31.4	20.4	0.95	17.6
	導入コスト	[千円]	8,148	5,830	300	4,759
	運転コスト削減	[千円/年]	950.3	740.5	34.8	575.2
	投資回収年数	[年]	11.0	8.6	6.1	8.6
	事業所 CO_2 削減割合	[%]	2.0	1.9	0.085	1.3

表 4．提案された対策の実施理由・未実施理由

実施理由	初期費用が安かったため	0	
	補助金を活用できたため	1	
	投資回収年数が短いため	0	
	省エネ効果の根拠が明確で確実性があるため	1	
	その他　（無回答を含まず）	1	
未実施理由	初期費用が高かったため	2	未実施理由として「既存設備がまだ使えたため」が多い。
	提案された設備の機能や運用に懸念	1	
	補助金を活用できなかったため	0	
	投資回収年数が長かったため	1	
	省エネ効果の根拠が不明で確実性がなかったため	0	
	既存設備がまだ使えたため	4	
	対策実施により事業所の操業に影響が生じるため	0	
	その他　（無回答を含まず）	4	

表 5．同時に実施されることが多い対策

同時実施の順位	メニュー番号	対策メニュー名	同じ大分類
1	11135	高効率パッケージエアコンの導入（老朽化更新を含む）	
2	22031	高効率変圧器の導入	○
3	22021	変圧器の無負荷時遮断	○

※ 特記事項

実施された対策について（表 3）

(1) CO_2 削減量の最大例は、変圧器 6 台をトップランナー仕様の変圧器 4 台に更新統合することを提案したもの。

(2) 運転コスト削減の最大例は、変圧器 2 台の省エネ変圧器への更新統合と、他 2 台の非更新統合を合わせて実施することを提案したもの。